あすなろだより

発行
社会福祉法人
松圓福祉会
あすなろ園家族会
倉敷市玉島勇崎1,044
電話 086－528－3110
FAX 086－528－3255

槌音高く

増築工事始まる！

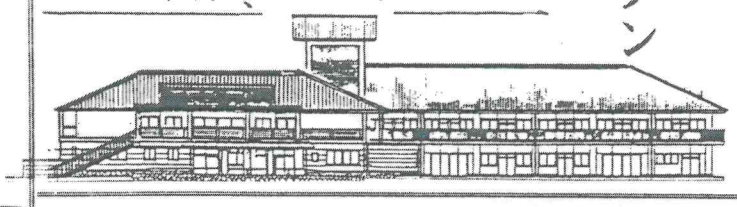
特別養護老人ホームが 三十床増築 今年十二月にオープン

地域の在宅要介護老人から熱望されていたあすなろ園の増床が、この度国、県、市の補助を得て、平成六、七年度継続事業として施工されることになった。

社会福祉法人松圓福祉会（理事長中塚正人）では、了て特養の増床と痴呆性老人棟の増床を申請していたが、その内特養部分三十名の増床が、この度許可された。これで特養の入所定員は、八十名となる。計画では、現在の管理棟、デイ・サービスセンターの平屋建て部分を二階建てにし、居室、寮母室、ナースステーション等をつくる。また二階食堂を増築。一階には、車イスで入浴できる最新鋭のチエアーインバス装置が導入される。そして厨房、医務室、会議室、阿弥陀堂が増築される。

今回特に新築される設備として職員の介護の軽減と入所者の安全を守るために。居室に、介護リフトが設置される。また庭園が整備され、車イスで庭にでられたり、散歩広場にベンチ等が置かれ、ゆったりとした、くつろぎの広場ができる。

総事業費は、三億一千万円で、完成は十一月二十日の予定。



高齢者の健康管理

社会福祉法人 松圓福祉会理事
中塚内科医院院長
中塚 銀太

健康ということについてはただ単に病気をしないというだけでなくて、心身共に年齢相応の働きがあることが望まれます。その上生きがいを感じられればそれに越したことはありません。高齢者にも自分自身でかなり管理できる人もあれば、一から十まで全てを介助に頼らざるをえない人もあります。また特定の病気をもっていて厳重な治療管理が必要な病人の方もおられます。ここでは特定の病気を対象にするのでなく、大体皆に共通した日常生活、生活習慣などの中でのありふれた健康管理について述べます。

◎ 食事

一般的に云って八十才にもなれば好きな物を好きなだけ食べればよい。と言えばいい過ぎですが、食べる楽しみ、食べた満足感にも配慮したいものです。食事時のだんらんとかコミュニケーションが付加されれば更に好ましいことです。　水分の量については要求しないことがよくあるので、よく飲むようにすすめることが必要です。噛む力に合わせての調理も大切ですが、食事については、直接栄養面のほかに体の調子を知る上での大事な目安になることはいうまでもありません。　食べる量が減るとか、食べない時は体温測定などが必要になります。

◎ 排便

便秘傾向の人が多く、状況を知っておく必要があり、対応するのも仲仲難しい場合があります。

◎ 排尿

女性は頻尿（回数が多い）、失禁。男性は排尿困難や夜間の回数増加が多い。要介護者では大体の尿量をみておくとよい。（おおよその見当でよい）

◎ 入浴

体を清潔にということは分かりきったことですが、他に全身の観察ができます。褥瘡（床ずれ）の有無とか足の状況など情報をうることができます。糖尿病や動脈硬化の強い人は特に足をよく観る必要があります。

◎ 歯

できるだけ整えておく。野生動物は歯を失うことは死を意味します。歯の工合が悪いとどうしても食事量が減ります。食欲はあっても食事半ばで食べたくないようになります。ひいては寿命に影響するともいえます。

◎ 爪

足の爪は知らぬ間に伸びて難儀することがあります。又白癬（水虫）が多い

◎ 歩行

「一に転ぶな二に風邪ひくな」といいますが、仲仲に難しい事柄です。蒲団の上で立ち上がると転び易く。又一般に素足が滑り難いとか色々あります。後悔先に立たずの感がします。

◎ 環境

この地方では冬期の保温は大切です。以前関東以西では冬期に死亡率が高かったことは保温についての設備、対応の不十分も関連があったと推定できます。

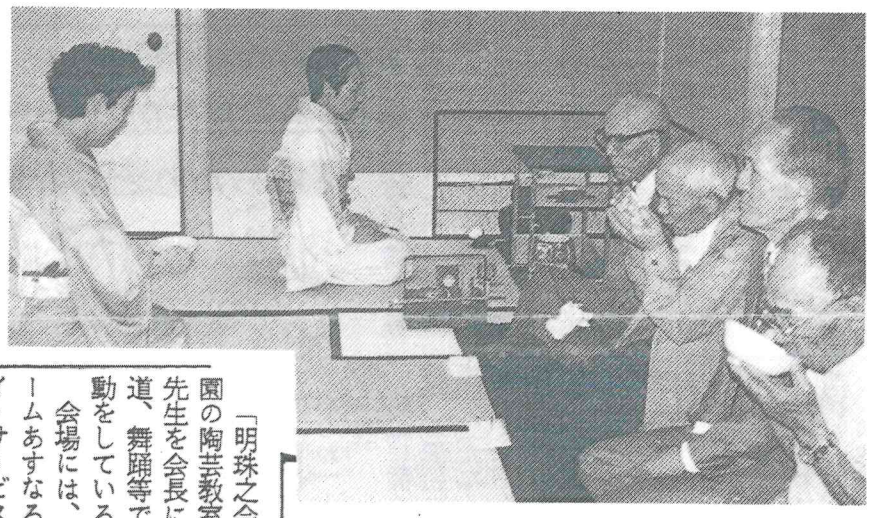
◎ その他

何か異常を感じた時は体温測定や応答の有無、食事、排尿などの状況をみて下さい。脚が立たないという時、卒中ではなく発熱のためだったという事もあります。

最後に痴呆の人を看ておられる方、接しておられる方はできる丈声をかけて下さい。どうせ分からないのだと決めつけずに「おはよう」「今日は」・・色々話しかけて下さるようお願いします。

第三回 明珠之会 開催

六月十七日、十八日倉敷美観地区の新渓園で第三回明珠之会発表が開催されました。



真剣にお手前をしてお茶を楽しむデイ・利用者

「明珠之会」は、あすなろ園の陶芸教室講師の川田良子先生を会長に陶芸、茶道、華道、舞踊等でボランティア活動をしている人達の集まり。

会場には、特別養護老人ホームあすなろ園の入園者やデイ・サービスセンター利用者、それに一般の人達が作った茶わん、花瓶、コップ等の陶芸作品約四百五十点が展示された。また、大治繁子社中の生け花も展示された。一方茶室では、あすなろ園デイ・サービスセンターの茶道講師王子昌宗先生が茶席を設け、会場は一段と華やいだ雰囲気に包まれた。当日はデイ・サービス利用者がバスで会場へ行き、自分達が作った作品を見学。茶室の遊心亭では、平素習ったお茶の作法で抹茶を楽しんだ。

▲自分の作品を見て歓声を上げるデイ・利用者

十八日は、同じ会場で倉敷翠松高校邦楽部の琴演奏と茶道部の抹茶サービスがあり、二日間で約千五百人の入場があった。

◀やさしい笑顔で診察される中塚先生

ボランティアの皆さん ありがとうございました

（順不同・敬称略）

秋山 和恵
滝沢 英子
福田 操
竹本 久仁子
中山 栄子
小室 美枝
西井 光子
吉川 節代
道田 緑
岡 照恵
小野 鶴子
久保 澄枝
仲 桂子
横田 廣
貫名 美子
若狭 光子
豊島 道子
藤山 美智子
生峰 勲
中山 栄子
小林 千津子
諏沢 行雄
赤沢 綾子
赤壁 八重子
浅野 須美子
初村 昌子
安藤 寛子
浅原 二三江
橋本 サエ子
勝田 美代子
松本 実
矢部 勇
三上 久潤
佐藤 和枝
中山 光子
竹之内昭子
熊谷 ハツエ
太田 照子
亀山 誠子
白神 栄
西 れい子
井頭 ミユキ
小野 シズ子
川本 清子
近藤 純子
西山 ヒサエ
小田 春子
原田 智子
西井 住子
守屋 美津子
小林 里美
森分 広子
原田 雅子
岡野 嘉明
矢部 津弥子
三宅 節夫
氏本 千枝子
国富 加奈恵
森本 純愛
真尾 弘子
川畑 前秀
竹山 敏治
坪井 のり子
池田 美智子
藤間 寿瑞恵
山口和香音
黒崎保育園
いちご会
黒崎中学校生徒会
渡辺 忍
生峰 民子
柳田 佳代子
若狭 孝雄
藤沢 千枝子
渡辺 柳子
小林 正子
中務 麻規子
中田 譲
山田 恵美子
川畑 美治子
和田 真弓
佐藤 晴子
武内 百合子
本城 貞子

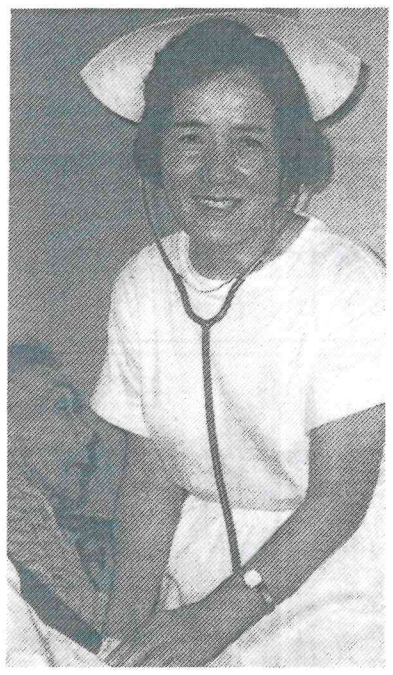
ご寄贈御礼

（受付順・敬称略）

田辺 才　金一封
小野 伯二　金一封
木口 哲夫　金一封
白神 一郎　金一封
小野 邦男　金一封
宇田賀 滝恵　金一封
八幡西睦会　金一封
八幡地区愛育委員会　金一封
寄島町社会福祉協議会　金一封
里庄町社会福祉協議会　金一封
岡山県蒟蒻工業協同組合　蒟蒻ビール
諸岡 宗田 寛治　野菜
浜野 喜美夫　菊鉢
サカエ装飾（株）　岡山日日新聞
有信 博康　洗剤
八幡地区愛育委員会　果物
中藤 勝俊　果物
西 康雄　果物
三宅 茂樹　果物
板野 輝夫　果物・お米
日本たばこ産業（株）倉敷営業所　たばこ
竹内 隆江　果物
杉本 豊樹　果物
平岡 キクエ　ポット
（株）岡山県海苔種苗センター　海苔
西田 明恵　タオル
重野 英雄　野菜
西 澄子　お花
岡田 弘　お花
中原 儀夫　お花
内田 光則　金一封
小椋 昇　金一封
中藤 光広　金一封
小野 勲　金一封
大橋 文子　金一封
宗田 寛治　金一封

「一九九四年十月十一日～一九九五年六月十日」

『看護日誌』



下仮屋　ヨシコ

ある夜のことです。昨日から調子の悪いAさんの事が気になりながらうとうととしていました。明日は中塚先生に紹介状を書いて貰い病院受診を考えていた。

夜中の一時頃園からの電話が鳴りAさんがさっきまではよかったのですが、一時過ぎ見廻りに行くと、状態がおかしく寮母さんの判断で玉島中央病院へ救急車で連れて行きますので病院の方へ急行して下さいとの事。病院に着くと同時位にAさんが救急車で病院へ。すでに呼吸停止して居り、医師、看護婦さんにより心臓マッサージ、回復処置を受けるが手当もむなしく、八十六歳で帰らぬ人となられました。

Aさんは夫婦で入所されています。事情があって園でお通夜をされました。夫Sさんとの対面の時私は、病院では緊張感で涙が出ない状態でしたが、Sさんがあわれで込みあげる涙を止める事が出来ませんでした。

人間いつかは終期があります。誰もが平等に年を取ります。別れはいつか来ます。

私達夫婦も初老を迎へ二人で生活しています。Aさん夫妻の別れのときを目の前にして、自分の中では主人を先に送り、一週間位して自分も後をおって行けたらいいなと、思っています。私とAさん夫妻とは縁あって同じ村で育ち関係深い人です。私の兄弟は両親に早く死に別れ一番下の弟はAさんに貰い乳をして大きくなったと言っても過言ではなく、大恩人なのです。

Aさんは園では温和でいろいろな行事にはほとんど参加し、手のかからない人でした。民謡ではいつでも『日の丸の旗』を歌っていたのを思い出します。

今、思うとAさんが調子の悪い時、病院に連れて行ってたらなーと後悔の念がなかったと言えばウソになりますが、入居者のほとんどの人が「Aさん死んだんなー、いい死にじゃったなー」「私もあの様に死ねたらなー」と言われこれでよかったんだと・・・。

どの様な終期を迎えるか人それぞれです。病院に入院し集中治療室で意識のないまま、口から鼻、血管、尿道と管が入り延命治療を受けている人も何人かおられます。

本人にとって家族にとってどんな終期を迎えるのが一番ベストか？苦痛があれば当然やわらげてあげなければなりませんが・・

私も看護婦として四十年近く続けていますが老人ホームに勧めるのは始めてです。

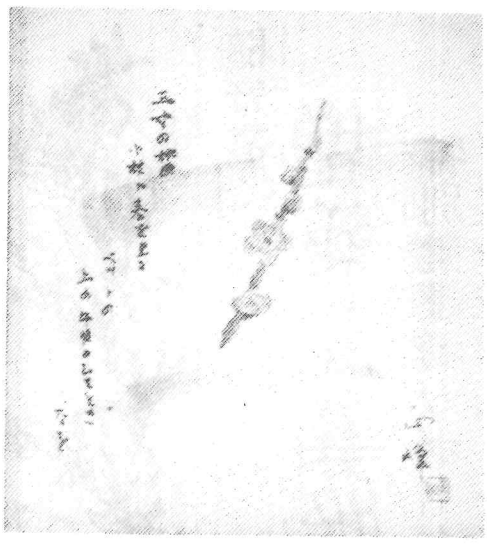
病院、医院では医師の指示で動けばよいし、異常があればそこに医師が居ます。

ホームではそれがありません。適格な判断力が問われます。今までいろいろ迷い悩み、人生の大先輩である入居者の皆さんにいろんな事をおしえられました。

看護婦として『して上げる』のではなく自分の家族だったらどうするだろう、自分だったらどうしてほしいだろうと言う気持ちでこれからも大先輩のニーズに合った介護、看護をと頑張らなければと思って居ります。

家族の方々と一度ゆっくりいろいろな問題を話合えたらと思う今日この頃です。

翌檜歌壇



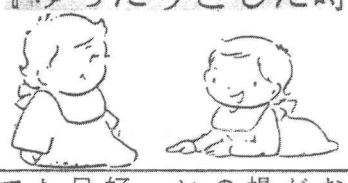
三寸の桃の小枝に春を見る
ベットの上の午後のひととき
作　松香　直　画　正　峰

祖母が老人性痴呆症と診断されたのは、五年前のことでした。医師からそう聞かされた時は、まさか祖母が・・

わたしは生まれて急に両親の都合により父方の親に育てられました。言うなれば祖母は、私にとって母親と同じ事なのです。私が中学一年の時祖父がなくなり、父も事業に失敗。

櫛風の日々から⇨⇨⇨しあわせの里へ

『ゆったりとした時を・・・』



難波　静代

症と診断されたのです。

仕事をしていて、昼間祖母を家に一人残しておくのが心配でしたので、医師の薦めによりデイケアを紹介して戴きました。

デイケアの見学の時の事はいまでも忘れません。テーブルを囲んで何人かのお年寄りがゆっくりとしたリズムで手拍子を取り、歌を唄っていました。また、その傍らで何人かのお年寄りが輪になって椅子に座り、紙風船を投げて遊んでいました。その様子を見守るデイケアのスタッフ。

私の目の中に入って来た光景はまさに子供に帰った祖母の姿でした。私は祖母の顔をまともに見ることが出来ずあんな元気だった祖母が・・

悔しくて、悲しくて込み上げて来る涙を押さえることが出来ませんでした。

デイケアに通い始めてから、三年ほど後だったと思います。

その日はデイケアは休みで私も仕事を休む事も出来ず、祖母を一人家に残し出かけました。

昼休みに家に戻って祖母の部屋を覗きましたが、祖母はおらず、大声で呼んでも応答が無く、まさかと思い、風呂場を覗いてみると、祖母は裸のまま洗い場にうずくまっていました。

祖母はお風呂に入るのが大好きで私が家を出る前にお風呂に入りたいと言っていましたが、時間が無く「私が帰ってからね」と言い家を出たのでした。

祖母に聞くと私が家を出た後、お風呂に入って、「急に足が立たなくなった」のだと言います。もしも、湯船にでも入っていたらと思うと怖くなりました。

ガスのつけ忘れもおおくなり、深夜の徘徊も増えて来ました。

午前三時頃だったと思います。

玄関の方でガラガラと言う物音がし、裏の物置の方でガタンガタンと大きな音が聞こえきたので、恐る恐る行って見ると祖母が立っていて「明日はゴミの日だからうば車をさがしている」といいました

昔　祖母は古いうば車にゴミを乗せゴミ捨て場に持っていき、ゴミを降ろしたあとは、必ず私をそのうば車に乗せ家にかえったものでした。

きっと昔を思い出したのだと思います。あの頃は時の流れがゆったりとしていたような気がします。

私が二十歳を越えた頃は仕事にも私用にも外出することが出来にくくなって来ました。

そんな私を見兼ねてか、老人介護センターの方が貴方のため、そしてなによりも祖母のため、「特別養護老人ホーム」に入ることを薦められました。「きっと、祖母の性格にあっていると思いますよ」とセンターの方が言う通り、のんびりと柔らかい空気が流れていました。それが「あすなろ園」でした。

申し込みをして一年後入所出来た　いま、祖母の様子も変わりました。

食事をしっかり取れるようになり、なによりも落ち着いて温和に微笑み話す祖母の姿を見て、「よかった」とつくづく感じています。

優しく迎えてくださった園の人々は私にやっと、『ゆるやかで温かい時』を取り戻させてくださいました。

この「時」がいつまでも続くことを願っています。

今まで働いた事がない祖母は内職を始めました。貧しく寂しい日々の中でも祖母はせめてもの思い出にと、修学旅行へも行かしてくれ、食事も自分の食べ物を減らしてまで「静代ちゃん、育ち盛りなんだから食べなさい・・」

時が過ぎて私も仕事を持ちました。

いつの頃からか台所に立つ祖母を見るよりも、体を横たえている祖母を見ることが多くなりました。そして、痴呆

ありがとうみなさん

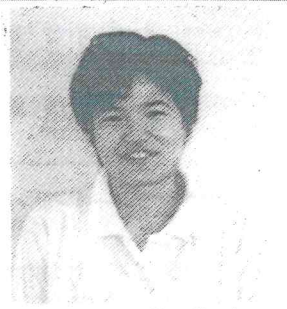
クラレ玉島工場からテレビが寄贈される

七月十日、株式会社クラレ玉島工場（井端直樹工場長）より、大型ワイドテレビ一台がプレゼントされた。これはクラレ社員が給料の端数を積み立てたもので、「福祉のために使ってください。」とあすなろ園に届けられた。園では早速食堂に置き、入所者が楽しんでいる。

新入職員紹介

がんばりますので
よろしくお願いします

寮母　妹尾亮子



寮母　藤原紀保

寮母　守屋芳子

寮母　大島佐知子

看護婦　原田直美

寮父　應武義久

看護婦　柚木清美

寮母　田中由紀美

一陽来福

（人の生命は地球より・・）と言った人がいましたが、一九九五年の半ばにしてもう地球は重さに　耐え兼ねてしずんでしまいそうです。それほどおおくの人々が亡くなる災害、事故が起きました。九号を発行する時は、ニュースキャスターが困るような世情であってほしいものです。

遅くなりましたが九十五年度の家族会の役員を紹介します。

会　長　小野　一良
副会長　有信　博康
幹　事　難波　康雄
　　宗田美智子
　　板野　輝夫
　　中藤　和雄
　　（あすろな園だより担当）
　　黒瀬　艶子
会　計　藤原　保
会計監査